

みやぎの人口(令和5年10月末現在)

住民基本台帳人口／2,244,899人(前年同月比-539人)	
男／1,094,848人	女／1,150,051人
世帯数／1,044,322世帯(前年同月比+7,910世帯)	

東松島市出身で、みやぎ絆大使の尾形さん。何事にも一生懸命な姿が人気を集め、バラエティ番組などでも引っ張りだこです。終始笑いが絶えなかった知事との対談では、ふるさとへの思いや芸人になったきっかけなどをお話いただきました。表紙は、おなじみの「サンキュー!!」ポーズを収めた一枚です。対談の様子は4ページから。



11月	10月	9月	8月	7月	5月	4月	3月	1月
14日 ●東北・みやぎ復興マラソン2023 5年ぶりに通常開催(写真7) ●宮城オルレ「村田コース」オープン(写真8) ●半導体製造工場の立地に関する協定をJSMC株式会社、大衡村および宮城県が締結(写真9)	22日 ●第2回松島町交通社会実験(15日)(写真6) ●宮城県議会議員一般選挙	17日 ●笑顔咲くたび伊達な旅 仙台・宮城2023年秋・冬観光キャンペーン開始(令和6年3月31日)(写真5) ●原子力災害避難支援アプリ運用開始	6日 ●仙台七夕まつり 4年ぶりに通常開催(8日) ●第105回全国高等学校野球選手権記念大会で仙台育英学園高等学校が準優勝	13日 ●大崎市と日本語学校開設に関する覚書を締結	8日 ●新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられたことにより「宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部」を廃止 ●産学官金でつくるスタートアップ支援組織「テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城テクノスタ宮城」設立 ●G7仙台科学技術大臣会合開催(14日) ●令和5年度全国都市緑化祭開催 佳子内親王殿下ご臨席(写真4)	1日 ●スターラックス航空 仙台―台北(台湾)線新規就航 ●宮城県大河原産業高等学校開校	2日 ●「みやぎハッカソン2023」※初開催(写真3) ※短い期間で特定のテーマのソフトウェアを開発し、出来栄を競うイベント ●みやぎ鎮魂の日(東日本大震災から12年) ●第168回芥川賞を受賞した佐藤厚志氏に県特別表彰を授与	17日 ●県内初の県産イチゴのアジア向け定期・定量輸出を開始(写真1) ●仙台空港国際線 約2年10カ月ぶりに定期便の運航再開(エバー航空 仙台―台北(台湾)線)(写真2)

みやぎの1年を振り返る

昨年、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられ、仙台七夕まつりをはじめ、さまざまなイベントが通常開催されるなど、私たちの生活にも少しずつコロナ禍前の「日常」が戻ってきました。

県では、DXによる県民サービス向上に向けた「みやぎハッカソン2023」の初開催や原子力災害避難支援アプリの運用開始などの施策に力を入れました。

2023年にあった県内の出来事や主な施策について振り返ります。

2023



5 観光キャンペーンポスター